

[別表] 履修の方法

医療福祉学研究科感覚矯正学専攻（修士課程）

別表（1）－1

研究分野	授業科目	配当年次	単位数		研究分野	授業科目	配当年次	単位数	
			必修	選択				必修	選択
基礎感覚矯正学研究	感覚矯正学特論Ⅰ	1		2	言語聴覚学研究	言語聴覚生理学特論Ⅰ	1		2
	感覚矯正学特論Ⅱ	1		2		言語聴覚生理学特論Ⅱ	1		2
	感覚器病理学特論Ⅰ	1		2		言語聴覚生理学演習Ⅰ	2		2
	感覚器病理学特論Ⅱ	1		2		言語聴覚生理学演習Ⅱ	2		2
	視覚・言語聴覚解剖学特論Ⅰ	1		2		言語聴覚発達学特論Ⅰ	1		2
	視覚・言語聴覚解剖学特論Ⅱ	1		2		言語聴覚発達学特論Ⅱ	1		2
	視覚・言語聴覚解剖学演習Ⅰ	2		2		言語聴覚発達学演習Ⅰ	2		2
	視覚・言語聴覚解剖学演習Ⅱ	2		2		言語聴覚発達学演習Ⅱ	2		2
視能矯正学研究	視覚臨床生理学特論Ⅰ	1		2	言語聴覚臨床病理学特論Ⅰ	1		2	
	視覚臨床生理学特論Ⅱ	1		2	言語聴覚臨床病理学特論Ⅱ	1		2	
	視覚臨床生理学演習Ⅰ	2		2	言語聴覚臨床病理学演習Ⅰ	2		2	
	視覚臨床生理学演習Ⅱ	2		2	言語聴覚臨床病理学演習Ⅱ	2		2	
	視覚発達学特論Ⅰ	1		2	音声言語病理学特論Ⅰ	1		2	
	視覚発達学特論Ⅱ	1		2	音声言語病理学特論Ⅱ	1		2	
	視覚発達学演習Ⅰ	2		2	音声言語病理学演習Ⅰ	2		2	
	視覚発達学演習Ⅱ	2		2	音声言語病理学演習Ⅱ	2		2	
	視覚障害リハビリテーション学特論Ⅰ	1		2	オージオロジー特論Ⅰ	1		2	
	視覚障害リハビリテーション学特論Ⅱ	1		2	オージオロジー特論Ⅱ	1		2	
	視覚障害リハビリテーション学演習Ⅰ	2		2	オージオロジー演習Ⅰ	2		2	
	視覚障害リハビリテーション学演習Ⅱ	2		2	オージオロジー演習Ⅱ	2		2	
	視覚臨床病理学特論Ⅰ	1		2	言語発達障害学特論Ⅰ	1		2	
	視覚臨床病理学特論Ⅱ	1		2	言語発達障害学特論Ⅱ	1		2	
	視覚臨床病理学演習Ⅰ	2		2	言語発達障害学演習Ⅰ	2		2	
	視覚臨床病理学演習Ⅱ	2		2	言語発達障害学演習Ⅱ	2		2	
	視能矯正・訓練学特論Ⅰ	1		2	医療言語聴覚学特論Ⅰ	1		2	
	視能矯正・訓練学特論Ⅱ	1		2	医療言語聴覚学特論Ⅱ	1		2	
	視能矯正・訓練学演習Ⅰ	2		2	医療言語聴覚学演習Ⅰ	2		2	
	視能矯正・訓練学演習Ⅱ	2		2	医療言語聴覚学演習Ⅱ	2		2	
視能矯正・訓練学実習Ⅰ	1		2	医療言語聴覚学実習Ⅰ	1		2		
視能矯正・訓練学実習Ⅱ	1		2	医療言語聴覚学実習Ⅱ	1		2		
					小計				120

- 修了要件・選択した研究分野の中の特論4科目以上を含む32単位以上を修得し、かつ修士論文を作成し、最終試験に合格すること。
- 履修方法・指導教員の指導を受け、授業科目を選択し、所定の単位を修得すること。
- ・指導教員の担当する演習4単位を必ず修得すること。
 - ・実習科目4単位を必ず修得すること。
 - ・修了要件32単位のうち8単位に限り、他専攻の授業科目を履修してその修得単位を修了要件単位に加えることができる。